

## 発達支援自己評価表の公表

(多機能型事業所 a m i a m i)

いつも当事業所の運営にご理解いただき、誠にありがとうございます。

当事業所では、月に1度、職員による事業所の評価を行っています。事業所の改善点を話し合い、問題解決に取り組んでおります。

職員の立場で答えた1年分の評価表を公表します。

(令和4年1月～令和4年12月までの評価)

チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	100%		指導訓練室合計 26.5 帖と縁側 3 帖を使用中。
② 職員の配置数は適切であるか	100%		利用者 10 名に対し、10 人の職員を配置。
③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		施設内、全てをバリアフリー化している。児が施設内のおもちゃ等を把握しやすいように、写真や文字で理解しやすい環境を作っている。
④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	99%	0%	利用児が動きやすいように、施設内は掃除、消毒を徹底し、清潔な環境を作り、気温湿度の調整を行っている。
⑤ 業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	100%		月に 1 回の職員会議で個々の児の様子や職員の業務中の注意事項などを話し合っている。個別支援会議を行い、利用者の支援についての疑問や解決案を出し合い、より良い支援に

			繋がるように話し合いを行っている。
⑥ 保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		保護者アンケートを実施して、保護者の意向を把握し、結果を職員で周知させている。
⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開しているか	98%	2%	ホームページ上にアンケートの集計結果を添付し、保護者や閲覧者が見ることができるようにしている。
⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1%	99%	第三者委員を設けていない
⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		職員会議の時に、その時期に必要な研修の議題を考え研修を行っている。年に一度、管理者との面談を行い、各職員の業務の取り組みについての話し合いを行っている。
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		半年に1回、保護者と利用児の自宅等での過ごし方を聞き、支援の見直しを行っている。
⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		利用開始時にアセスメントシートを保護者に記入してもらっている
⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定され	100%		保護者の意向や、発達支援センターで取り組んでいることを聞き、支援計画を作成し、具体的な支援内容を決め、支援を実施している。

ているか			
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		支援計画に載せた具体的な支援を行い、半年毎に改善しながら支援を行っている。
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		利用者の利用曜日や特性を踏まえ立案している。職員で話し合って活動予定を作成している。
⑮活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		集団活動が固定化しないように、職員で話し合い、一か月ごとに決め実施している。
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%		行った支援の個々の児の反応、支援方法、改善点を職員で話し合っている。(業務日誌、個別評価表を作成)
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		児の担当職員が当日担当者へ指示し、支援内容に応じて全体活動、個別活動を行っている。
⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		個の利用者の気づきや、活動時の様子で気になったことを支援後に話し合っている。業務日誌を作成し、児の様子について全職員が把握できるようにしている。
⑲日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		当日担当者がその日の利用者の様子を個別目標に沿って記入し、担当職員が検証、改善を行い個別に評価している。1か月毎に管理者が確認している。
⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性	100%		日々、担当者が記録する評価を参考に、目標

を判断しているか			を達成した場合は新たな目標を立て、保護者の了承を得て目標の変更、支援に取り組んでいる。
㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	93%	7%	担当職員、児童発達支援管理責任者、主任と話し合ったうえで、管理者が参加している。
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		相談支援員や保護者、支援学校教諭と話し合っ て支援を行っている。
㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%		利用開始前に発達支援事業所を併設している児童発達支援センターの利用児童については児のケアについて助言を受けてから利用を開始している。
㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか	100%		利用児主治医に救急時の対応や医療的ケアの指示書を出していただいている。
㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	97%	3%	利用が決まった児について、発達支援センターへ児の様子の見学へ行き、児の体調や支援内容についての助言を受けている
㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	98%	2%	担当者会議に利用児担任にも出席していただき、利用児の学校での様子を把握するようにするとともに、事業所での様子を伝えている。
㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		発達支援センターと相談支援事業所が併設されているため、密に連絡を取り合い、助言を

			頂いている。
㊸ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	23%	77%	兄弟時交流や他事業所との交流を企画したが、コロナ渦により行うことができなかった。
㊹ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	43%	55%	子ども部会はコロナ渦により中止。リモートでの会議には出席。
㊺ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		送迎時に事業所での児の様子を話したり、自宅での様子を聞いたりしている。必要時には個別に電話、SNS等で連絡をとっている。
㊻ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%		自宅での生活の中での困りごとを保護者に聞き、事業所での解決案を考え取り組んでいる。
㊼ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		利用の契約時に説明を行っている
㊽ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		支援計画書見直しや、更新、契約時に保護者に事業所で行う支援についての説明を行っている。
㊾ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	93%	7%	送迎時等に保護者の話を聞き、送迎職員が事業所で管理者に報告、管理者から保護者に連絡をするようにしている。
㊿ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	99%	1%	保護者会を企画していたが、コロナ渦により行うことができなかった。(令和4年1月に親子交流会を計画したが中止)
㊿ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備	100%		保護者の混乱防止のため、保護者対応は基本

するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか			的に管理者が行うことにしている。
③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		「おたより」として、月に1回発行し、保護者向けのライングループやホームページ（ブログ内）にて児の活動内容や様子を発信。
③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		事業所として知り得た情報は従業員一同、厳重に秘密保持するように指導し、事務所内、鍵付き書庫にて管理している。
③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		担当者会議や支援計画書更新時には事業所で支援内容についての説明を行っているがコロナ渦でできていない。
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	67%	コロナ渦でできていない。
④⑪ 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	99%	1%	利用契約時に保護者に説明を行っている。職員は、マニュアル内から研修をし、年に3回の訓練を行っている。
④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		長期休暇中には避難訓練を行い、お便りや、ホームページで保護者に知らせている。
④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		服薬があるときには保護者から連絡帳等で説明をしてもらい看護師が内服させている。発作時の対応については利用契約時に話し合い、年に1度、モニタリングシートを発行し、

			記入してもらっている。薬等の種類が変わった場合は都度、連絡をしてもらっている。
④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		おやつやクッキング等の活動時は、保護者に除去すべき食材を確認してもらっている。事業者内で提供している昼食についてもアレルギー対応を行っている。
⑤ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		事例を定期的にまとめて職員会議で話し合っている。
⑥虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		虐待防止研修を年に1度は行っている。
⑦どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		身体拘束を行う児の保護者には了解をもらっている。支援計画書に記載あり。

改善しなければならない部分を職員同士で話し合い、今後の事業所の運営に繋げていきます。今後とも、よろしくお願いします。

特定非営利活動法人 a m i a m i  
多機能型事業所 a m i a m i  
理事長・管理者 勝田 美鈴